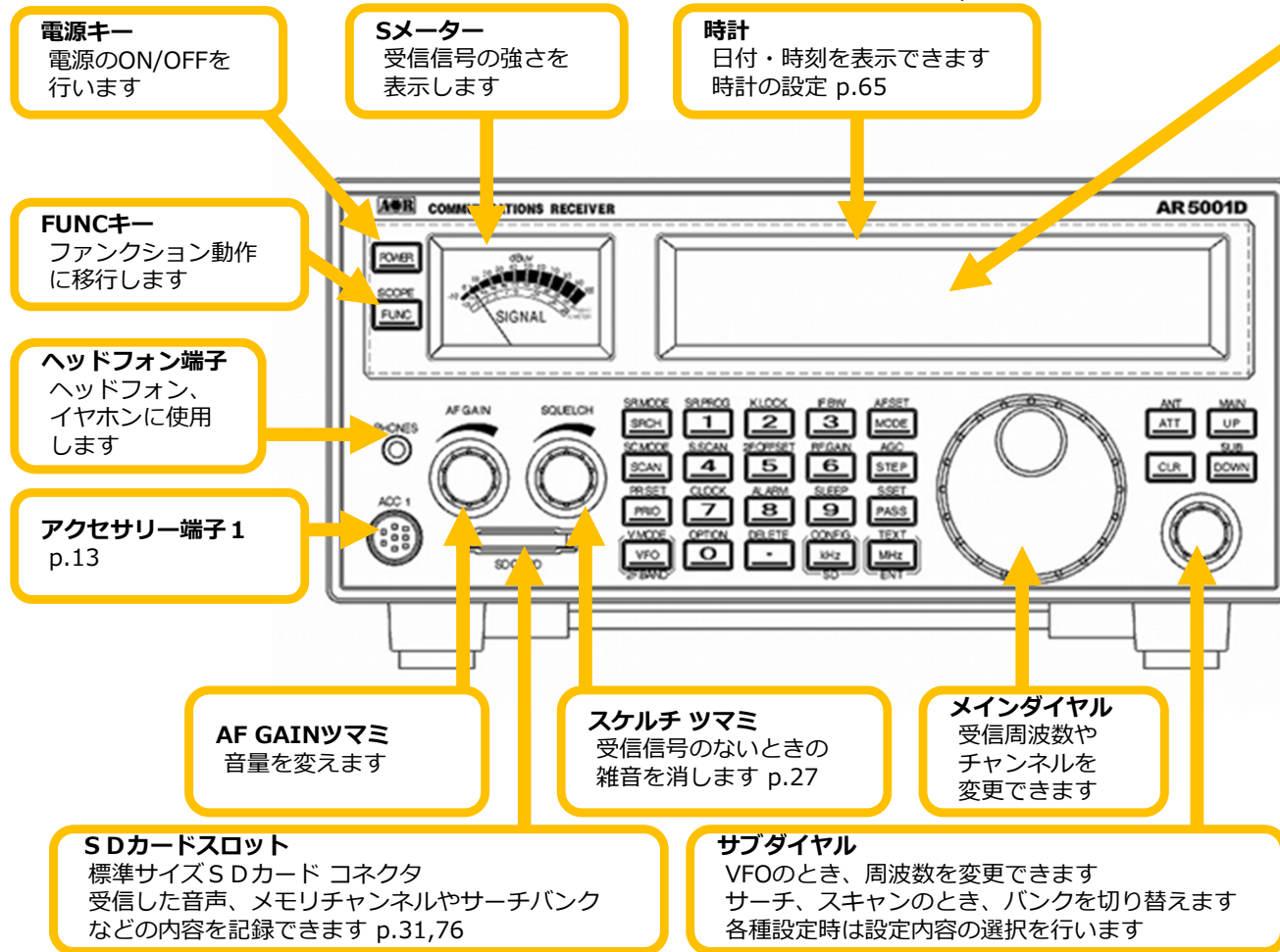
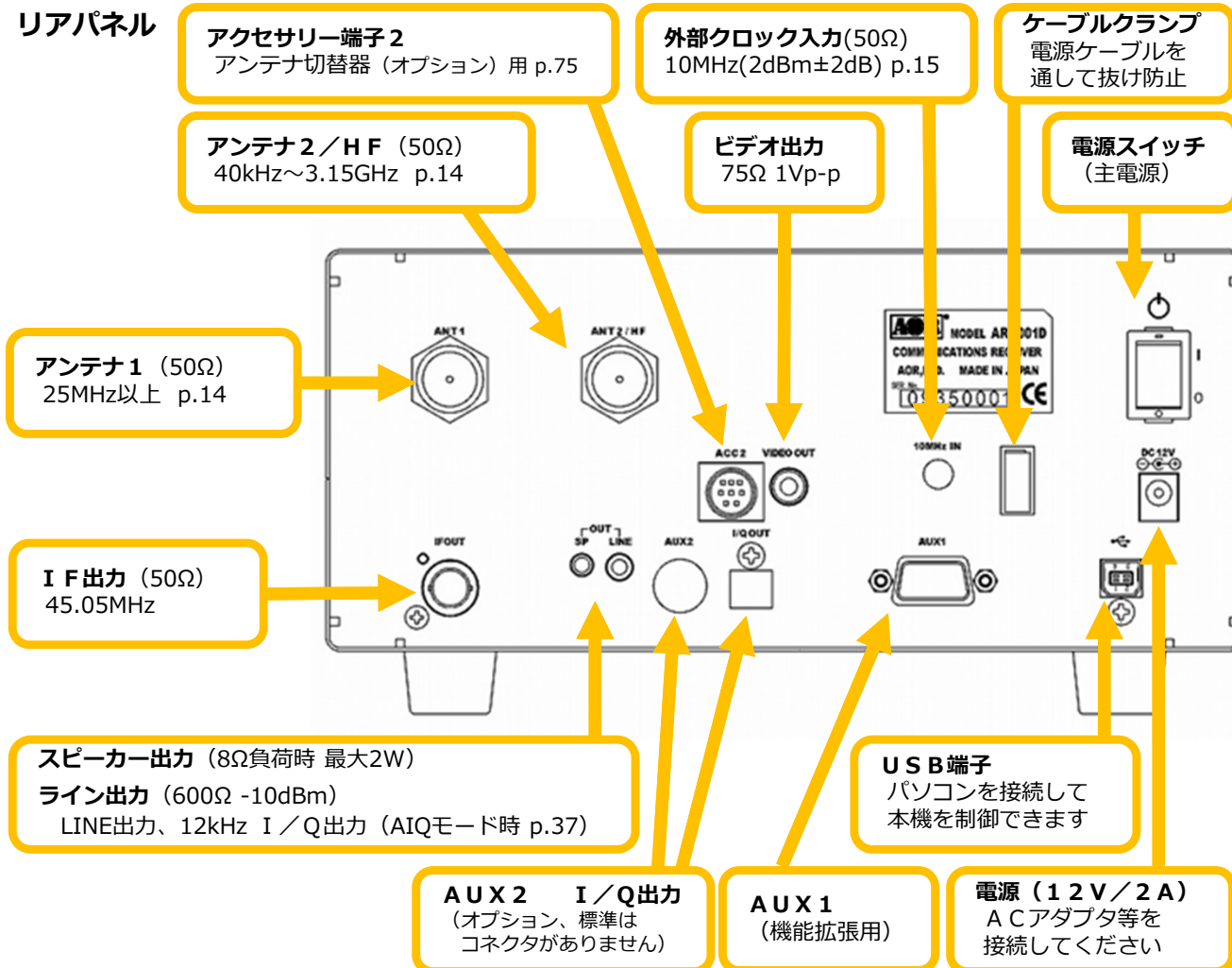


フロントパネル

詳しい操作方法は取扱説明書をご覧ください。(p.数字は取扱説明書のページ)

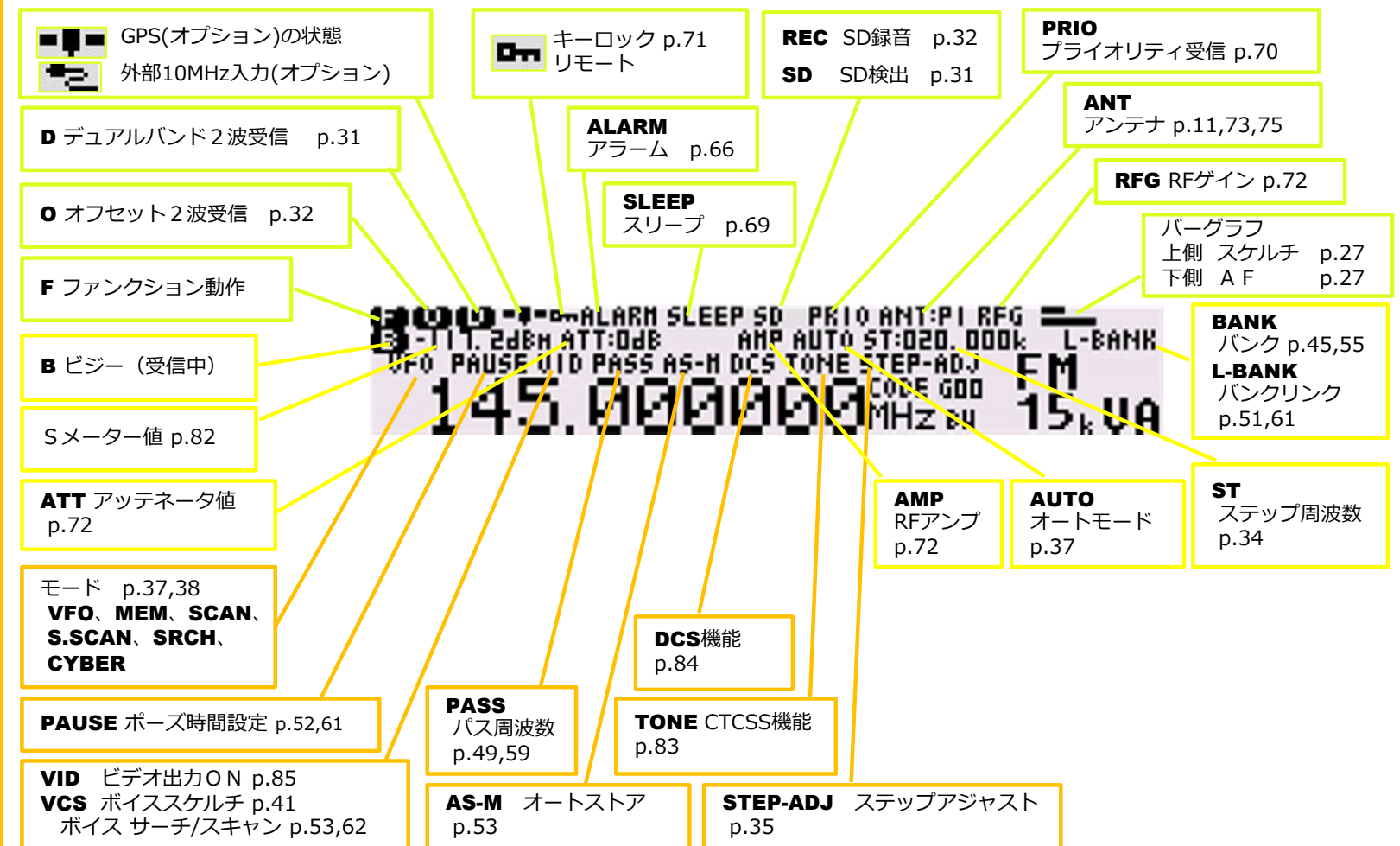


リアパネル

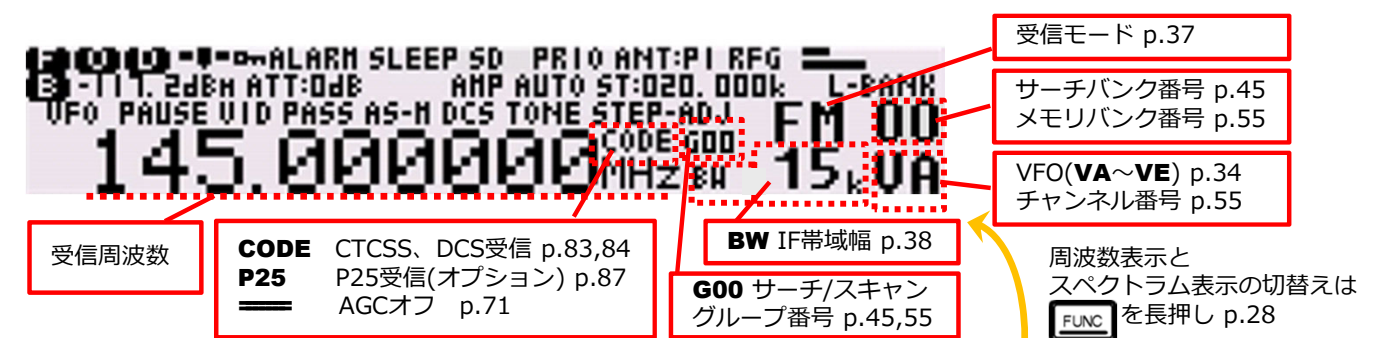


ディスプレイ (LCD)

周波数の表示や各種の表示をおこないます

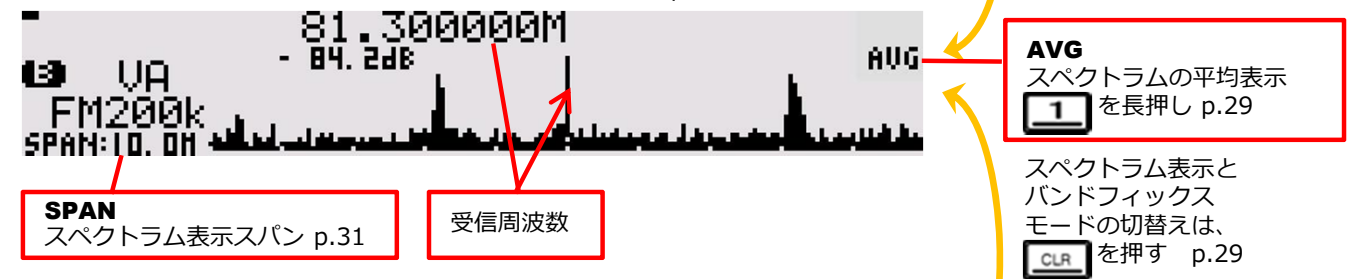


周波数表示



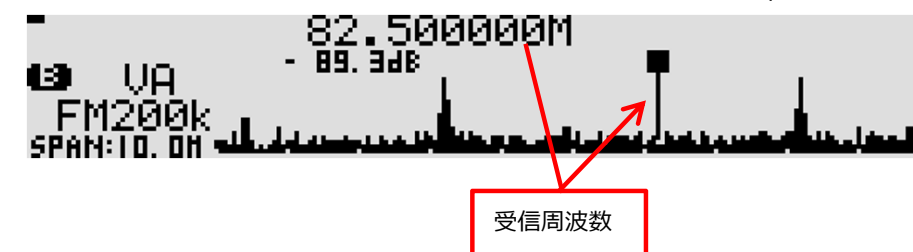
スペクトラム表示

中央が受信周波数の表示スパン幅のスペクトラムを表示 p.29



バンドフィックスモード

スペクトル表示を固定したまま受信周波数を移動できる p.29



詳しい操作方法は取扱説明書をご覧ください。 (p.数字 は取扱説明書のページ)

キーボード

これらのキーには、キーに表示の機能（ノーマル動作）と、**FUNC** キーを押したあとに使用する ボタンの上側に表示の第2の機能（ファンクション動作）があります。

POWER	-（電源オフ時） 押す ：電源をオン（p.25） -（電源オン時） 長押し ：電源をオフ（このとき最終の動作状態をバックアップ保存）（p.27）
SCOPE FUNC	- 押す ：ファンクション動作（各キーの第2の機能を使う）に移行または解除（ファンクション動作時は、左上に 1-2 アイコン表示） - 長押し ：ディスプレイの周波数表示とスペクトラム表示を切替（p.28）
SRCH	- 押す ：サーチモードに移行し、サーチを開始（p.45）（サーチモード時は「 SRCH 」モード表示、チャンネル番号に「 SR 」表示） サーチ中に信号で停止した場合、 UP または DOWN またはメインダイヤルを回すとサーチ再開 -（サーチモード時） 押す ：サーチモードを解除（または VFO ） - 長押し ：C Y B E Rサーチを開始（p.49）
FUNC + SRCH	- 押す ：サーチグループの設定サブメニューを開く（バンクリンク、ポーズ時間、ディレー時間、ボイスサーチ、オートストア）（p.51） バンクリンクでは、 PASS でON/OFFを切替
SCAN	- 押す ：メモリチャンネル読み出しモードに移行（p.55）（メモリチャンネル読み出しモード時は、「 MEM 」モード表示） サブダイヤルでメモリバンク番号・メインダイヤルでメモリチャンネル番号を選択、または、数字キーで、メモリバンク番号2桁・メモリチャンネル番号2桁を続けて押して選択 -（メモリーチャンネル読み出しモード時） 押す ：スキャンモードに移行し、スキャンを開始（p.56）（スキャンモード時は、「 SCAN 」モード表示） スキャン中に信号で停止した場合、 UP または DOWN またはメインダイヤルを回すとスキャン再開 -（スキャンモード時） 押す ：スキャンモードを解除（または VFO ）
FUNC + SCAN	- 押す ：スキャングループの設定サブメニューを開く（バンクリンク、ポーズ時間、ディレー時間、ボイススキャン、モードスキャン）（p.60）
PRIO	- 押す ：プライオリティ動作に移行または解除（p.70）（プライオリティ動作時は、「 PRIO 」表示）
FUNC + PRIO	- 押す ：プライオリティチャンネルの登録サブメニューを開く（p.70）
VFO	- 押す ：V F Oモードに移行する（p.34）（V F Oモード時は、「 VFO 」モード表示） VFO-A～VFO-Eは、 VA 、 VB 、 VC 、 VD 、 VE 表示
FUNC + VFO	- 押す ：V F Oサーチの設定サブメニューを開く（ディレー時間、ボイススケルチ）（p.40） - 長押し ：デュアルバンド受信に移行または解除（p.28）（デュアルバンド受信時は、 1-2 アイコン表示）
FUNC + VFO 2F BAND	メイン周波数とサブ周波数の切替えは UP または DOWN
1	- 押す ：数字の1を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 1	- 押す ：サーチプログラム設定サブメニューを開く（バンク番号、サーチ範囲、モード、I F帯域幅、ステップ、テキスト）（p.46）
2	- 押す ：数字の2を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 2	- 押す ：キーロックのON/OFFを切替（p.71） キーロックON時は、キーロックアイコンが表示
3	- 押す ：数字の3を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 3	- 押す ：I F帯域幅設定サブメニューを開く（p.38）

(例) **FUNC** + **SRCH** - **押す** は、**FUNC** キーを押したあと **SRCH** キーを押す動作

4	- 押す ：数字の4を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 4	- 押す ：セレクトスキャンモードに移行し、セレクトスキャンを開始（p.63） （解除は、 SRCH または SCAN または VFO ）
5	- 押す ：数字の5を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 5	- 押す ：オフセット2波受信に移行または解除（p.30） （オフセット2波受信時は、 1-2 アイコン表示）
6	- 押す ：数字の6を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 6	- 押す ：R Fゲイン（増幅度）を手動調整または解除（p.72） スケルチツマミを回して手動調整できます ゲインを下げている状態では、Sメーターの振れが大きくなります
7	- 押す ：数字の7を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 7	- 押す ：時計表示になり、現在の日付・時刻を表示（p.66） サブダイヤルで、時計1、時計2の表示を切替 - 長押し ：時計設定サブメニューを開く（時計1/2、12H/24H表示、日時、テキスト）（p.65）
8	- 押す ：数字の8を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 8	- 押す ：アラーム動作を実行または解除（p.68） - 長押し ：アラーム・ラジオ設定サブメニューを開く（時刻、鳴っている時間、ピープ音/ラジオ/スケルチが開いているときSDカードに録音/スケルチが閉じていても録音、アラーム音量）（p.67）
9	- 押す ：数字の9を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 9	- 押す ：スリープ動作の実行または解除（p.69） - 長押し ：スリープ設定サブメニューを開く（設定時間）（p.69）
0	- 押す ：数字の0を入力（周波数、バンク番号、チャンネル番号など）
FUNC + 0	- 押す ：オプション画面を開く（ノイズスケルチ、レベルスケルチのヒステリシス、オートノッチ、ノイズリダクション、ノイズブランカ、秘話反転機能、I F周波数シフト、A F C機能、C T C S S トーンスケルチ、D C Sコードスケルチ、D T M F復号、プリセクションフィルタ、ビデオ出力、ビデオI F方向）（p.80）
.	- 押す ：周波数（MHz、kHz単位）を数字キーで入力するときの小数点を入力（p.28） -（文字入力時） 押す ：スペース挿入
FUNC + .	-（メモリチャンネル読み出しモード時） 押す ：表示中のメモリチャンネルを消去（p.58） - 長押し ：1つのバンク内すべてのメモリチャンネルを消去するサブメニューを開く（メモリチャンネル消去、セレクトスキャン登録解除、メモリチャンネルパス登録解除、サーチデータ消去および周波数パス消去、すべての周波数パス消去）（p.59）
kHz	- 押す ：数字キーでkHz形式の周波数を入力した場合の登録（p.28）
FUNC + kHz	- 押す ：コンフィグ画面を開く（L C Dバックライト、ピープ音量、シリアルポート、使用地域、スケルチが開いているときSDカードに録音、受信レベルの単位、アンテナプログラム、SDカード情報表示、メモリ内容をSDカードに保存、SDカードからメモリ内容を読み込み、SDカードをフォーマット、バージョン表示、工場出荷時の状態にリセット、各メモリバンクのチャンネル数を割当）（p.73）
kHz SD	SDカードを挿入して「 SD 」表示の状態では - 押す ：SDカードに保存された録音ファイルの再生の操作（p.32） UP ・ DOWN でファイルを選択、 MHz で再生、再生ストップは CLR - 長押し ：SDカードに受信音声を録音（p.32）録音ストップは CLR

- ・**押す**：このキーを押す動作
- ・**長押し**：このキーを1秒以上押し続ける「長押し」動作

MODE	- 押す ：受信モードを手動で選択（p.37） - 長押し ：受信モードをオートモードに設定または解除（p.37） 米国、日本、ヨーロッパの3つの地域に応じて、周波数によって受信モード、I F帯域幅、周波数ステップ、ステップアジャストを自動で設定します（オートモード時は「 AUTO 」表示）
FUNC + MODE	- 押す ：オーディオ特性設定サブメニューを開く（ローパスフィルタ、ハイパスフィルタ、デ・エンファシス、CWピッチ）（p.42）
STEP	- 押す ：ステップの登録 サブダイヤルで選択（オートモードでは自動的に設定） サブダイヤルのステップは[UP]を押したあと選択（p.34）
FUNC + STEP	- 押す ：A G Cの時定数を選択（p.71） A G Cはオフの時はkHzまたはMHz表示の上に＝（二重線）が表示
STEP + PASS	- 押す ：ステップアジャストの登録または解除（p.35）（*が表示） ステップアジャスト時は、「 STEP-ADJ 」表示
PASS	- 押す ：サーチ、または、スキャン中に停止した周波数を以後停止しないようにサーチパスまたはメモリチャンネルパスを登録（p.49、59） - 長押し ：サーチパスの編集・追加・消去（p.49）消去する場合は PASS -（文字入力時） 押す ：カーソル位置の文字を削除 -（設定サブメニューで使用时） 押す ：初期設定値やよく使う値を切替え選択できるメニュー項目があります（ポーズ時間、ボイスサーチの設定、バンクリンク、ポーズ時間など）
FUNC + PASS	- 押す ：セレクトスキャンチャンネルの登録または解除（p.63） セレクトチャンネルは、バンク番号表示の左に「 s 」表示
MHz ENT	- 押す ：数字キーでMHz形式の周波数を入力した場合の登録（p.28） -（設定（サブ）メニューで使用时） 押す ：選択、または、数字キーで入力した設定値の登録 -（テキスト入力時） 押す ：入力したテキストの登録 -（サーチで停止中に使用时） 押す ：その周波数をVFO-Dに移す（p.39） -（スキャンで停止中に使用时） 押す ：その周波数をVFO-Cに移す（p.39） -（VFOモード時） 長押し ：その周波数をメモリチャンネルに登録するモードに入る（p.57）
FUNC + MHz	- 押す ：サーチバンク、および、メモリチャンネルに登録されているテキスト表示の切替（p.46、57）
ATT	- 押す ：アッテネータ（0dB（RF AMPあり）、0dB（RF AMPなし）、10dB、20dB、AUTO）選択（p.72）
FUNC + ATT	- 押す ：アンテナ（1～4、AUTO）選択（p.73）
CLR	- 押す ：入力中の周波数の入力とりやめ、または、キャンセル、または、設定メニューの終了
UP または DOWN	-（周波数入力時） 押す ：1文字戻る（ UP のみ） -（マニュアルサーチ時） 押す ：サーチの検索方向を周波数の高い方または低い方で次の検索を開始（p.44） -（サーチ/スキャンモード時） 押す ：サーチ/スキャンの検索方向を周波数の高い方または低い方で次の検索を開始（p.45,56） -（テキスト入力時） 押す ：カーソルを右または左に移動 -（設定（サブ）メニューで使用时） 押す ：次または前の項目に移動
MAIN UP または SUB DOWN	-（デュアルバンド受信時） 押す ：表示周波数を（メイン周波数、サブ周波数）切替（p.29）
FUNC + MAIN UP または FUNC + SUB DOWN	-（デュアルバンド受信、オフセット2波受信時） 押す ：音量バランス（メインのみ、メイン+サブ、サブのみ）の切替（p.29,30）
FUNC + AF GAIN	デュアルバンド受信、オフセット2波受信時 - AF GAIN ツマミをまわす：メインとサブの音量バランス調整（p.29、30）
FUNC + MHz ENT	スペクトラム表示時 - メインダイヤル をまわす：スペクトラム表示のスパンを調整（p.29）